

「5県1市との懇談会」開催報告

中経連は、事業方針および事業活動に関する情報共有や意見交換を目的に中部5県および名古屋市と懇談会を毎年度実施している。今回は、三重県との懇談会について、以下のとおり報告する。

日時・場所	出席者	
三重県との懇談会 12月25日(水) ホテル津センターパレス	三重県	一見知事、服部・野呂副知事をはじめ12名
	中経連	水野会長、伊藤・安藤(仁)副会長、伊藤三重大学学長、西岡(株)光機械製作所社長をはじめ10名

懇談会概要

- 水野会長は挨拶の中で、中部圏は他地域に比べて、コロナ禍後のインバウンド回復が遅れていることに触れ、県境を越えた広域観光の重要性を訴えた。また、カーボンニュートラルの実現やスタートアップ支援など中経連の取り組みを紹介し、三重県により一層の連携を呼びかけた。
- 一見知事は、「観光は一つの県だけで頑張るのではなく連携が重要」と水野会長の発言に応じた。また、半導体産業、ペロブスカイト太陽電池や洋上風力発電などの再生可能エネルギー事業、防災・減災対策など県の取り組みを紹介するとともに、中経連への協力を求めた。
- 自由懇談では、半導体人材の育成や地域定着、中小企業における防災・減災対策に向けた意識の向上、「ツーリズムEXPOジャパン 2025 愛知・中部北陸」を契機とした広域観光の強化などについて意見を交わした。

